

平成28年度版

NEW CROWN

学習活動の重点化等に資する 年間指導計画参考資料

【中学2年】

この資料は、生徒の学びの保障を目的に、教科書の内容から「学校の授業で取り上げることが必要であると考えられる教材・学習活動」と「学校の授業以外の場での学習が可能であると考えられる教材・学習活動」とに区別して、学習活動の重点化の観点から単元ごとの配当時数、主な学習活動などをご提案するものです。地域や学校の状況に応じてご活用ください。

また、以下に示す重点化の考え方によらず、次年度以降を見通した教育課程を編成することも考えられます（以下の指導計画に沿って指導を行い、年度末段階で指導できなかった内容を次学年に移す）。

三省堂

令和2年6月版

指導内容一覧 2年

月	箇所		この課のねらい	●題材【領域】と題材のねらい ◆場面 ▲はたらき	言語材料 (1)	言語材料 (2)	言語活動					配当 時間	
	レッスン	タイトル			文構造・文法事項 (☆サブ) / 表現	語彙・音声	パート	L	S	R	W		活動の内容
4	L1	Aloha!	●関心・意欲・態度：ハワイの伝統文化について知る。 ●言語・文化：過去形を理解し、使うことができる。(復習) ●読むこと (USE Read)：ハワイ滞在の物語文を読むことができる。 ●話すこと (USE Speak 会話)：一言付け加えたりして、会話を続けることができる。	●ハワイ【異文化】 ・ハワイについて関心を高める。 ・ハワイの伝統文化について知る。 ・伝統文化について考える。	一般動詞の過去形 (復習)	【Word Bank】 行き先と交通手段	GET USE Read USE Speak	● ●	● ●	● ●	● ●	【読む】 絵日記を読んで、その概要を読み取る。 【聞く】 — 【話す】 一言付け加えたりしながら、会話を続ける。 【書く】 —	2 1 1
	LT1	道案内をしよう	交通手段をたずねたり、説明したりする道案内の会話をする ことができる。	◆道案内 ▲交通手段をたずねる・説明する・相づちをうつ・あいさつをする	How can I get to ~?	—	—	●	●	—	—	【読む】 — 【聞く】 — 【話す】 How can I get to ~? で交通手段をたずねたり、Take ~. で交通手段を説明したりする道案内の会話をする。 【書く】 —	1
5	L2	Peter Rabbit	●関心・意欲・態度：イギリスの児童文学について関心を高めることができる。 ●言語・文化：be 動詞の過去形・過去進行形・接続詞 when を理解し、使うことができる。 ●読むこと (USE Read)：ピーターラビットの物語を読むことができる。 ●話すこと (USE Speak 発表)：ピーターラビットの物語のあらすじを、絵を使いながら発表することができる。	●ピーターラビット【異文化】 ・イギリスの児童文学について関心を高める。 ・物語の構成について知る。 ・物語の登場人物の気持ちについて考える。	【GET】 Part 1: be 動詞の過去形 (肯定文、疑問文・応答文、否定文) Part 2: 過去進行形、接続詞 when	【Word Bank】 Part 1: 感想 Part 2: いろいろな動作	GET USE Read USE Speak	● ●	● ●	● ●	● ●	【読む】 物語を読んで、その概要を読み取る。 【聞く】 — 【話す】 聞き手にわかりやすいように、読んだことのある物語のあらすじをプレゼンテーションする。 【書く】 —	4 2 2 1
	LL1	テレビニュース	テレビニュースを聞いて、話の全体的な内容を聞き取ることができる。	◆ニュース	—	—	—	●	—	—	—	【読む】 — 【聞く】 テレビニュースを聞いて、話の全体的な内容を聞き取る。 【話す】 — 【書く】 —	1
	LT2	もし雨が降ったら	条件や仮定を言う会話をする ことができる。	◆日常生活 ▲場合に分けて説明する・相づちをうつ	If it's clear, ~	—	—	—	●	●	—	—	【読む】 — 【聞く】 — 【話す】 If ~で「もし~ならば」と条件や仮定を言う会話をする。 【書く】 —
6	L3	The Ogasawara Islands	●関心・意欲・態度：自然環境の問題について考えることができる。 ●言語・文化：未来を表す表現や接続詞 that を理解し、使うことができる。 ●読むこと (USE Read)：環境問題に関する意見文を読むことができる。 ●書くこと (USE Write)：「地球を守るためにできること」についてのアンケートに答えることができる。	●自然環境・世界遺産【自然科学・共生】 ・自然環境の保全について関心を高める。 ・自然環境を保全するために人々が努力していることについて知る。 ・観光地に住む人々の考えや気持ちについて考える。	【GET】 Part 1: 未来 (will) (肯定文、疑問文・応答文、否定文) Part 2: 未来 (be going to ~) (肯定文、疑問文・応答文) Part 3: 接続詞 that Review: つなぐことば (接続詞)	【Word Bank】 Part 1: 天候 Part 2: 時を表すことば Part 3: 環境問題	GET USE Read USE Write	● ●	● ●	● ●	● ●	【読む】 講演資料を読んで、その要点を読み取る。 【聞く】 — 【話す】 — 【書く】 (具体例をあげながら)「地球のためにできることについて」のアンケートの回答を書く。	6 2 2 1
	LL2	世界の天気予報	天気予報を聞いて、自分に必要な情報を聞き取ることができる。	◆天気予報	—	—	—	●	—	—	—	【読む】 — 【聞く】 天気予報を聞いて、自分に必要な情報を聞き取る。 【話す】 — 【書く】 —	1
	LT3	避難訓練	「~しなければならない」「~してはいけない」と言う会話を することができる。	◆安全教育・学校生活 ▲しなければならないこと、してはいけないことを説明する・確認する	We must ~. / We must not ~.	—	—	—	●	●	—	—	【読む】 — 【聞く】 — 【話す】 must ~で「~しなければならない」 must not で「~してはいけない」と言う会話を する。 【書く】 —

学校の授業以外の場での学習が可能であると
考えられる教材・学習活動

◆ p.6, p.8の本文は、新出語句の意味を調べ本文の概要を把握する。【本文訳は後日配布】
◆ p.6のDrill, p.7の1 Listenは、音声を聞きながら、1年の既習事項を振り返る。【要音源】
◆ p.7の2 Speak, 3 Writeは「例」を参照しながら、1年の既習事項を振り返る。
◆ p.9のStep 1と3は会話の音読練習に替える。
[4時間]

◆ p.20の文法のまとめは、解説を参照しながら、Lesson 2の既習事項を振り返る。
◆ p.20のSoundsは、授業で扱う必要がある。
[1時間]

◆ p.34の文法のまとめは、解説を参照しながら、Lesson 3の既習事項を振り返る。
◆ p.35のReviewは、解説を参照しながら、既習事項を振り返る。
[1時間]

指導内容一覧 2年

月	箇所		この課のねらい	●題材 [領域] と題材のねらい ◆場面 ▲はたらき	言語材料 (1)	言語材料 (2)	言語活動					担当 時間	学校の授業以外の場での学習が可能で あると考えられる教材・学習活動					
	レッスン	タイトル			文構造・文法事項 (☆サブ) / 表現	語彙・音声	パート	L	S	R	W			活動の内容				
6	P1	有名人を紹介しよう	好きな有名人についてインタビューをし、プロフィールを紹介する英文のポスターを作ることができる。	◆人物紹介	—	—							●	●	●	【読む】— 【聞く】— 【話す】 友達が好きな有名人についてインタビューする。 【書く】好きな有名人のプロフィールを紹介するポスターを書く。	2	
7	FS1	英和・和英辞書を活用しよう	—	—	—	—										—	1	◆ p.40の「英和・和英辞書を活用しよう」は、解説を参照しながら、英語の学び方を知る。 [1時間]
	L4	Enjoy Sushi	●関心・意欲・態度：日本の食文化について関心を高めることができる。 ●言語・文化：There is [are] ～. や動名詞を理解し、使うことができる。 ●読むこと (USE Read)：すしについての説明文を読むことができる。 ●話すこと (USE Speak 会話)：相手の言ったことを確認したりして、会話を広げることができる。	●日本の食文化 [伝統文化] ・日本の食文化について関心を高める。 ・日本の食文化であるすしについて知る。 ・外国人に紹介したい日本の食文化について考える。	【GET】 Part 1: There is / are ～. (肯定文、疑問文・応答文) Part 2: 動名詞	【Word Bank】 Part 1: 部屋 Part 2: いろいろな動作	GET	●	●	●	●	【読む】 ウェブサイトの記事を読んで、そこに書かれている事実を読み取る。 【聞く】— 【話す】 相手の言ったことを確認しながら、会話を続ける。 【書く】—	4	◆ p.50の文法のまとめは、解説を参照しながら、Lesson 4の既習事項を振り返る。 ◆ p.50のSoundsは、授業で扱う必要がある。 [1時間]				
							USE Read			●			1					
							USE Speak		●				1					
					【Sounds】 2文字子音字			●	●			1						
9	LL3	観光案内	観光案内所の案内を聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。	◆旅行	—	—								●		【読む】— 【聞く】 観光案内所の案内を聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取る。 【話す】— 【書く】—	1	
	LT4	宿題は何？	「～しなければならない」と言う会話をするすることができる。	◆学校生活 ▲しなければならないことを説明する・間をつなぐ	We have to ～.	—							●	●		【読む】— 【聞く】— 【話す】 have to ～で「～しなければならない」と言う会話をする。 【書く】—	1	
	LR1	A Pot of Poison	日本の古典をもとにしたとんち話を読むことができる。	●ドラマ (物語) [伝統文化] ・日本の古典芸能について関心を高める。 ・日本の古典芸能の中の知恵、笑いを楽しむ。 ・登場人物の性格について考える。	—	—									●	【読む】 とんち話のおもしろさを読み取る。 【聞く】— 【話す】— 【書く】—	4	
	L5	Uluru	●関心・意欲・態度：旅の楽しさと地域文化を尊重することについて考えることができる。 ●言語・文化：動詞 (give など) + A + B, 動詞 (look など) + A を理解し、使うことができる。 ●読むこと (USE Read)：観光地についての意見文を読むことができる。 ●書くこと (USE Write)：好きな国についてのエッセイを書くことができる。	●旅の楽しさと地域文化 [異文化] ・オーストラリアについて関心を高める。 ・先住民族の存在について知る。 ・旅の楽しさと地域文化を尊重することについて考える。	【GET】 Part 1: SVOO Part 2: SVC (V=一般動詞)	【Word Bank】 Part 1: いろいろな動作 Part 2: 感情	GET	●	●	●	●	【読む】 ガイドブックのコラムを読んで、その要点を読み取る。 【聞く】— 【話す】— 【書く】 (主張に対する理由をあげながら,) 好きな国についてのエッセイを書く。	4	◆ p.66の文法のまとめは、解説を参照しながら、Lesson 5の既習事項を振り返る。 ◆ p.66のSounds 1, 2は、授業で扱う必要がある。 [1時間]				
USE Read									●		2							
USE Write									●		2							
					【Sounds】 二重母音, 曖昧母音			●	●			1						
10	LL4	空港・機内のアナウンス	空港・機内のアナウンスを聞いて、自分に必要な情報を聞き取ることができる。	◆アナウンス	—	—								●		【読む】— 【聞く】 空港・機内のアナウンスを聞いて、自分に必要な情報を聞き取る。 【話す】— 【書く】—	1	
	LT5	もっただけですか	許可を求める会話をするすることができる。	◆食事 ▲許可を求める・承諾する・食べものをすすめる (・ほめる)	May I ~?	—							●	●		【読む】— 【聞く】— 【話す】 May I ~? で「～してもいいですか」と許可を求める会話をする。 【書く】—	1	

指導内容一覧 2年

月	箇所		この課のねらい	●題材【領域】と題材のねらい ◆場面 ▲はたらき	言語材料 (1)	言語材料 (2)	言語活動					配当 時間	
	レッスン	タイトル			文構造・文法事項 (☆サブ) / 表現	語彙・音声	パート	L	S	R	W		活動の内容
2	LT7	買い物をしよう	苦情を言いながら買い物をする会話をすることができる。	◆買い物 ▲苦情を言う・提案する	This shirt is too ～ .	—		●	●			【読む】— 【聞く】— 【話す】 too ～で「～すぎる」と苦情を言いながら買い物をする会話をする。 【書く】—	1
3	P3	自分の町を紹介しよう	自分が紹介したい場所について友達と話し合い、文を書くことができる。	◆町紹介	—	—		●	●	●	●	【読む】— 【聞く】— 【話す】町で紹介したい場所やものについてインタビューする。 【書く】自分の町の紹介文を書く。	2
	LR2	Landmines and Aki Ra	平和への社会貢献をしている人の自伝を読むことができる。	●地雷除去・平和【人間・社会】 ・平和への社会貢献について関心を高める。 ・地雷の恐ろしさとその恐ろしさを伝えることについて知る。 ・平和への社会貢献について考える。	—	—					●	【読む】自伝を読んで、その内容を読み取る。 【聞く】— 【話す】— 【書く】—	4

合計 99 時間

学校の授業以外の場での学習が可能であると
考えられる教材・学習活動

◆ pp.112-115の本文は、新出語句の意味を調べ
本文の概要を把握する。【本文訳は後日配布】
[4 時間]

[合計 17/99 時間]

※
年度末の学習内容が指導しきれない場合には、第2学年のLesson 8 (pp.99-107) の8時間分を次年度に送り、第3学年のLesson 1 (pp.6-9) の前に指導することも考えられる。